

ライフスタイルを見直し、省エネ・節電を進めよう

東日本大震災の発生以降、安定した電力供給への懸念が続く中、エネルギー安定供給や地球温暖化防止といった課題に対応するため、平成23年5月、私たちは、これまでのライフスタイルを今一度振り返ることの呼びかけを行い、皆さまとともに省エネルギー・節電に取り組んでまいりました。

依然として我が国のエネルギーを巡る環境が厳しく、また、地球温暖化防止に向けた取組の強化が求められている中で、本年4月に閣議決定された新たなエネルギー基本計画では、再生可能エネルギー導入の加速化や多層化・多様化した柔軟なエネルギー需給構造の構築、徹底した省エネルギー社会の実現などが示されております。今夏の電力需給について、政府見通しによれば最低限必要な電力は確保できるとされていますが、火力発電の高稼働を続けることで必要な供給力を何とか確保している状況であります。エネルギー供給は、安全性を大前提とした上で、安定供給を第一とし、経済効率性の向上による低コスト化や環境負荷の低減を図ることが強く望まれるところであり、エネルギーを消費する側にも、これまでのライフスタイルを見直すなどの努力を続けていくことが求められます。

私たちは、引き続き夏場の軽装、空調や照明・パソコン等の使い方の見直しなど、様々な節電策を実践するとともに、エコドライブやノーレジ袋の推進、エコカー・省エネ設備の導入など省エネルギー化を図ってまいります。

中国地域の皆さまにおかれましても、家庭や事業所において、再生可能エネルギーの導入や省エネ・節電に取り組むことで、低炭素社会に向けたライフスタイルを実践していただくとともに、これらの取り組みを一層、地域で広げていただきますよう、ご協力をお願いいたします。

平成26年5月28日

中国地域発展推進会議

鳥取県知事	平井伸治
島根県知事	溝口善兵衛
岡山県知事	伊原木隆太
広島県知事	湯崎英彦
山口県知事	村岡嗣政
中国経済連合会会長	山下隆
鳥取県商工会議所連合会会長	藤縄匡伸
島根経済同友会代表幹事	宮脇和秀
岡山県商工会議所連合会会長	岡崎彬
広島県商工会議所連合会会長	深山英樹
山口県商工会議所連合会会長	川上康男